

東郷展特別開催

薩摩の秘剣

やくまるのだちじげんりゅう

薬丸野太刀自顕流 奉納演武

令和1年8月17日(土) 午後1時30分開始

やくまるのだちじげんりゅう

8月17日(土) 午後1時半～2時、薬丸野太刀自顕流保存会 東京道場と東京同学舎道場は東郷神社(渋谷区神宮前1-5-3)境内で、至誠館で行われる東郷展の一環として奉納演武を実施します。東郷展会場には、自顕流の高弟で日夜鍛錬を欠かさなかった東郷平八郎愛用の木刀も展示してあります。

当流は1,000年以上の歴史を持つ薩摩の秘剣で、敵を避けさせず防がせず防げば刀もろとも叩き斬る激烈さが神髄です。桜田門外の変、生麦事件、戊辰戦争、西南の役 ― と幕末にその名を刻み、「自顕流が明治維新を叩き上げた」とまで言われています。日頃、台上の横木を長大な木剣で斬りかかる『続け打ち』を中心に、遠間から一気に間合いを詰めて斬る『掛かり』、帯刀状態から瞬時に抜刀して下から斬り上げる『抜き』=写真=、正面から襲って来る長棒を打ち落とす『長木刀』、地面に立てた複数の棒を斬り倒して行く『打ち回り』等を修練しています。

奉納演武ではこれら“実戦的剣技”を披露します。天地を両断する如くの気概を体感して頂くと共に、奉納後には体験打ちも用意していますので是非見学・体験にお出下さい。

